

2020年

2月14日(金)

外来昆虫対策の 技術講習会

ヒアリ、クビアカツヤカミキリ、ツマアカスズメバチの
対策を実習を交えて学びます

主催：兵庫県外来生物対策協議会（兵庫県・兵庫県自然保護協会・ひょうご環境創造協会）



会場：兵庫県立人と自然の博物館

4F大セミナー室・実験セミナー室

※ 要事前申し込み（裏面参照）

※ 受講費は無料

外来昆虫対策の 技術講習会



2020年2月14日(金)  
会場：兵庫県立人と自然の博物館



撮影:小松貴

兵庫県では、兵庫県自然保護協会および(公財)ひょうご環境創造協会と連携して2019年より兵庫県外来生物対策協議会を設置し、早期発見や防除技術の開発と講習などを進めています。外来生物は、あらゆる公共空間、農地や民間の敷地にも出現し、自然や健康、農業、産業に大きな被害をもたらします。このため、科学的な知見に基づく確で総合的な対策が不可欠であり、様々な関係者による理解と協力が、駆除の効率を高め、早期発見による拡大を防止します。定着を見逃ごして、一度蔓延してしまうと、駆除は極めて困難になります。

今回の実習講座では、早期発見の技術面ならびに対策について、具体的な機材等を用いて実習します。研究機関のスタッフが講師を努め、外来生物対策の総論、実践事例や実習など具体的な実践事例を紹介いたします。特に、今回はじめて、クラックへの樹脂含浸技術(標本製作技術の応用)、LAMP法と呼ばれる簡便な遺伝子増幅によるヒアリの検出実習を行います。関心のある自治体関係者や民間企業の技術職員、試験研究機関や研究者の方々のご参加をお待ちしております。

1 部

10:30~12:00

- 主催者あいさつ (兵庫県外来生物対策協議会)
- 舗装面クラックへの樹脂充填と含浸技術(実習)
三橋弘宗(兵庫県立大学/兵庫県立人と自然の博物館、協力:大谷塗料)

2 部

13:00~15:30

- LAMP法による、非専門家でも容易にできるヒアリの迅速診断実習
坂本洋典・五箇公一(国立環境研究所)
- ヒアリ侵入の現状と対策の課題 橋本佳明(兵庫県立大学/兵庫県立人と自然の博物館)
* 実習は定員20名で要事前申し込み。見学だけでも可能です。

3 部

16:00~17:45

- 外来昆虫の重点的防除対策 五箇公一(国立環境研究所)
 - ツマアカスズメバチへの化学的防除手法の検討 坂本洋典(国立環境研究所)
 - クビアカツヤカミキリの初期侵入対策 山本優一(大阪府立環境農林水産総合研究所)
- (意見交換会)兵庫県でヒアリとクビアカツヤカミキリにどう備えるか?
コメント:三橋弘宗・橋本佳明(兵庫県立大学/兵庫県立人と自然の博物館)

■ セミナー室にてヒアリ検鏡に使える簡易マイクロスコープや防除資材、外来生物の標本も並べております

申し込み方法

※受講費は無料です

電子メールにて、氏名(ふりがな)、所属、連絡先、電話番号、2部の希望(実習希望・見学)を明記の上、下記にお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選とします。

❗ 必ず2部の希望を明記ください 事務局:ひょうご環境創造協会(兵庫県外来生物対策協議会)
2部(実習希望・見学) TEL: 078-735-4100

E-mail: seminar@eco-hyogo.jp

会場(兵庫県立人と自然の博物館)は、神戸電鉄フラワータウン駅より徒歩2分▶

申し込み〆切
2/7 金

